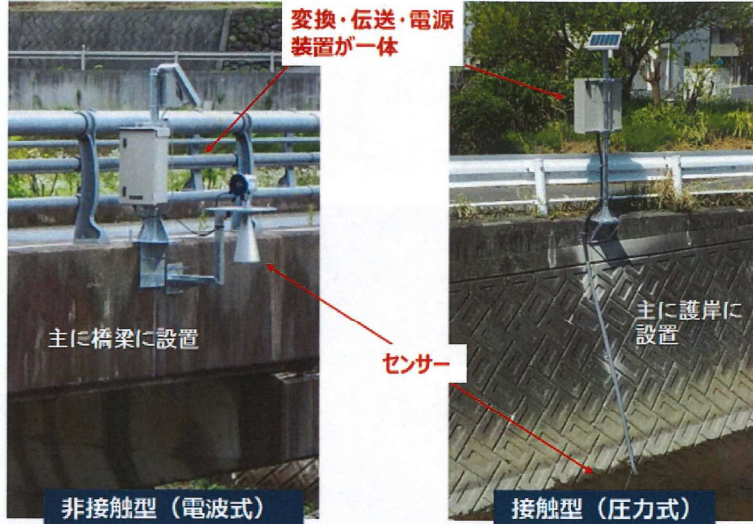


危機管理型水位計の特徴は？

- 長期間メンテナンスフリー (無給電で5年以上稼働)
- 省スペース (小型化) (橋梁等へ容易に設置が可能)
- 初期コストの低減 (機器費100万円/台以下)
- 維持管理コストの低減 (洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減)

水位計設置 (例)



非接触型 (電波式)

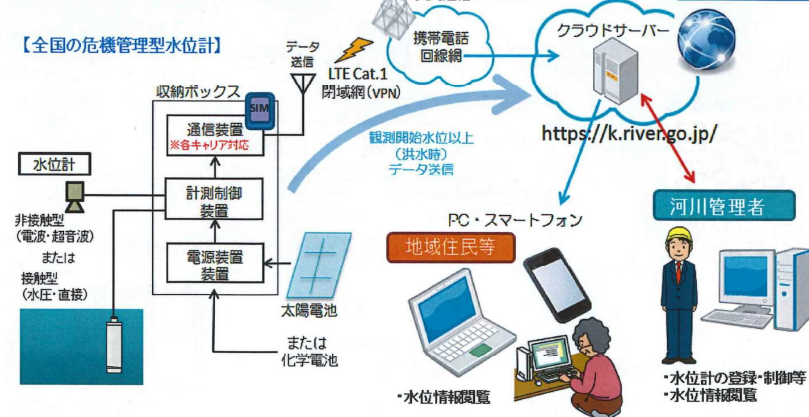
接触型 (圧力式)

危機管理型水位計の観測データ提供の流れ (川の水位情報)

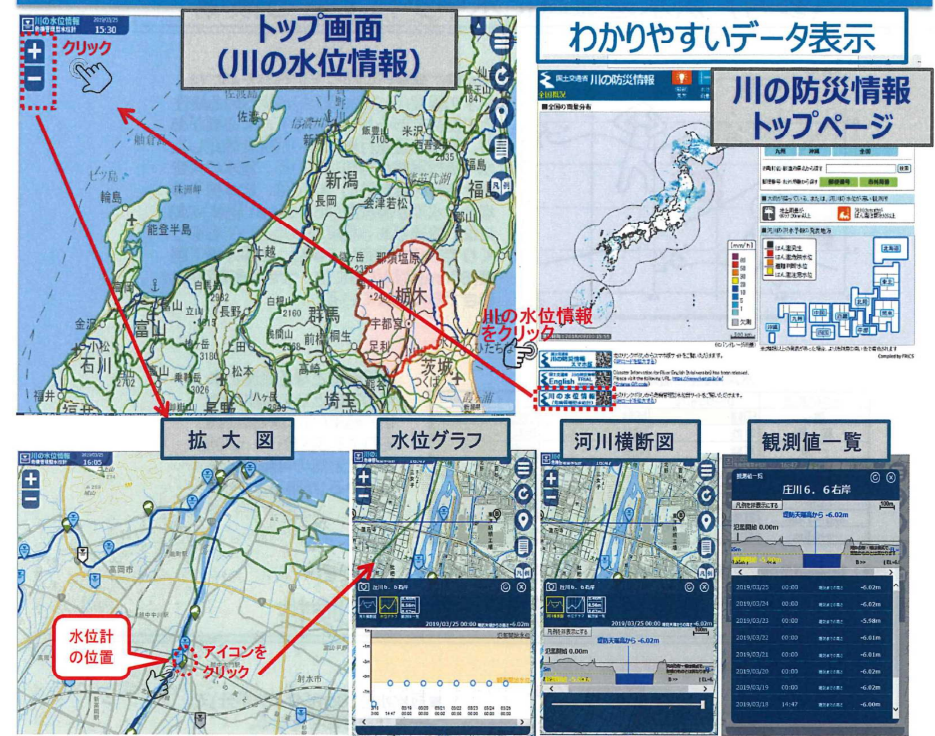
全国の自治体等が設置した危機管理型水位計から携帯電話回線で送られてきた水位情報をパソコンやスマートフォンの画面で提供するサービス

平成30年6月1日から、河川管理者や住民等がスマートフォン、タブレット、PC等を用いて、危機管理型水位計の水位データを簡単に閲覧することができるシステムの運用を開始しました
 ▶ アクセスはこちらから <https://k.river.go.jp/> (パソコン・スマートフォン共通)

【危機管理型水位計運用のシステム構成】



「川の水位情報」の画面表示



「川の水位情報」の画面表示 通常水位計・河川監視カメラ画像を同時に表示

